

北海道立学校ふるさと応援事業実施校一覧

公表内容				
管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
空知	<a href="#">滝川工業高等学校</a>	創立100周年の思いをつなぐ事業	令和2年に創立100周年を迎えるにあたり、今後も地域と連携した工業教育を、関係者と一体感をもって推進していくため、空知の魅力等をテーマとして、空知出身又は空知に縁のある著名人を招聘した記念講演会の実施や、学校の特色を活かした記念品を製作するため、必要な設備の整備を行う。	これまで、空知管内工業教育の中心校として、管内はもとより道内、全国で活躍して活躍するものづくり産業への人材育成に、その役割を果たしてきたが、道内他地域に比べ人口減に伴う生徒減が顕著である。空知管内唯一の工業科設置校として、今後も、地域とより密接に関わった工業教育の推進を図るため、創立100周年記念事業を充実させて実施することが必要である。また、「空知の魅力」をテーマとした記念講演や、生徒が地域に感謝する気持ちを表す記念品の製作により、生徒が地元へ愛着を持ち、地元へ貢献しようとする意欲の向上を図ることが期待できる。
空知	<a href="#">深川西高等学校</a>	「きり拓き 創りあげる人に」ICT環境の整備	学習指導方法の工夫・充実を図り、生徒の学習意欲を高める魅力的な授業づくりを一層推進し、情報化社会に主体的に対応できる人材を育成するため、ICT機器の環境整備を行う。	社会の情報化が急速に進展する中、情報社会で主体的に対応できる「情報活用能力」を生徒が身に付けることができる環境整備に加え、教師が学習指導にICT機器を取り入れ、「分かる授業」を展開することにより、生徒の「確かな学力」を効果的に育成することが期待できる。
		「きり拓き 創りあげる人に」地域の期待に応える部活動	部活動を効果的に行うために必要な練習環境の整備や活動機会の増加により、部活動の充実を図る。	地域からの期待が大きい部活動の一層の活性化を促し、生徒が生き生きと充実した活動ができる環境を整備する必要があるため。
空知	<a href="#">栗山高等学校</a>	web上の情報資源を最大限活用する学習環境整備・充実推進事業	生徒個々の能力に応じた学習や、アクティブ・ラーニング等の新たな学びの充実を図るため、教室におけるインターネット環境を整備	地元の中学卒業生が都市部の学校に大量に流出する小規模校というハンデがあるが、学習活動のあらゆる場面でインターネットを活用しながら様々な情報や考えに触れながら学べる学習環境を整え、指導の充実や教育活動に生かし学校の魅力化を図る必要がある。
空知	<a href="#">月形高等学校</a>	個別調査・学習スペースの設備	新しい社会に対応し、生徒に「分析力」、「問題発見力」、「推論力」等の資質・能力を育成するためICT機器を整備した個別スペースを整備	現状のICT環境では、通常の授業や資格取得以外に生徒が自由にパソコンをしにくい環境であり、個別の学習活動に制約が生じており、更に連携している道内外の大学からの指導・助言も得にくい状況にある。
石狩	<a href="#">札幌東高等学校</a>	「太陽は東から」プロジェクト(The sun rises in the east.)	カナダ(ブリティッシュコロンビア州)における10日間の海外研修プログラムの実施(高校訪問による交流活動、大学での体験学習、ホームステイ等)	参加者はもちろん他の生徒に対しても「生涯にわたり学び続ける力」や「チャレンジする強い精神」を育む機会となり、ひいては国際社会で活躍できる人材の育成に大きく資する。
石狩	<a href="#">札幌南高等学校</a>	部活動全国大会出場サポート	運動部のトレーニング機器、文化部の必要物品整備、全国大会の参加生徒への補助	延べ千名以上の生徒が積極的な部活動を行っているが、生徒の能力や可能性を引き出し、日々の努力を発揮する機会を充実させたい。
		学校林ふれあい事業	学校林における環境教育	「造林育人」の教えもの、歴代卒業生から引き継がれてきた学校林における森林との触れ合いから、環境を学ぶとともに、学校林活動の意義を理解し母校愛を育む機会としたい
		南高生人づくり応援事業	日常の悩みや不安を解消する相談活動及び定時制生徒の社会体験活動充実	全校生徒が充実した高校生活を送れるよう、一層の極め細かい予防措置的なカウンセリング体制や、定時制生徒のボランティア活動を充実させたい。
石狩	<a href="#">札幌北高等学校</a>	アクティブラーニング環境の充実	アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業の工夫・改善を目指したICT機器の整備	社会に出てからも活躍し、21世紀を担うグローバルな人材を育てるために特別活動をはじめとする学校での取組を推進する学習環境や、新たな学びのための情報環境の整備が必要不可欠である。
		個別面談スペースの設置(定時制)	個別の教育支援が必要な生徒等が安心して面談できる個別面談スペースの設置(定時制専用教室の有効活用)	定時制課程には、個別の教育支援が必要な生徒が在籍しており、これらの生徒が学校生活に適応し、安心して学校生活を送るため、きめ細かな指導を充実させる必要がある。
		国際理解教育の充実	国際理解教育の充実を図るため、生徒の海外研修への支援	社会に出てからも活躍し、21世紀を担うグローバルな人材を育てるため、国際理解教育の充実に向けた生徒への支援が必要不可欠であるため。

公表内容				
管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
石狩	<a href="#">札幌東陵高等学校</a>	東陵VISITOR(ビジター)プロジェクト	学校の持つ人的・物的な教育資源を積極的に活用した学校開放講座の拡充を図り、地域の人たちへの学びの機会を提供	本校の学校開放講座は10年以上の実績を持ち、近年では保護者や地域住民を講師とする講座も開かれている。より一層、地域住民や生徒の生涯学習を支援する観点から現在の取組の一層の充実発展が求められるため。
石狩	<a href="#">札幌稲葉高等学校</a>	「探求学習活動」等の充実のための環境整備	アクティブラーニングや探究的学習活動等の新たな学びを支援するためICT環境の充実	生徒所有のスマホや学校所有の端末により授業を進めているが、スマートフォンを持たない生徒や、自分の端末使用を望まない生徒への対応に苦慮、学校としても必要数を準備したい。
石狩	<a href="#">札幌国際情報高等学校</a>	グローバル人材育成に係るアクティブラーニング環境の充実	アクティブラーニングの観点から探究学習等の新たな学びを支援するICT環境の整備	新たな学びを推進する上で、プロジェクトを活用した授業や、インターネットを活用した調べ学習、外部との情報交換、海外との相互通信を欠かすことができないが、現状では、全クラスにおいて、全生徒が一斉に実施する環境が整備されていないため。
石狩	<a href="#">野幌高等学校</a>	アクティブラーニング環境の充実	生徒の興味関心を引き出し、協働する姿勢や深い学びを体験するためICT環境を整備	現在使用しているタブレットは、北海道立教育研究所からの貸与を受けている。授業では生徒4人に1台であり、自分の授業で使用したい生徒も毎回順番待ちの状態であるため。
石狩	<a href="#">大麻高等学校</a>	「地元の教育力を大麻高校の力に！」プロジェクト	本校の教育力を高めるため、市内4大学と連携を深め、近隣にある博物館や運動公園等、地域の教育環境や人的資源を教育活動の充実に活用する。また、小中学校との連携を深め、ICTを活用した授業づくりをより充実させるためICT環境を充実する。	大学が4つある等の文教地域としての特性を生かすため、市内大学との連携を図り、大学の教育力を活用することで、生徒にこれからの社会を生き抜いていく上で必要となる課題発見力や課題解決力を身につけさせる。加えて、地元の自然や教育施設、人的資源を活用し、生徒たちの郷土愛を深め、主体的に社会に関わる意欲や態度を育む必要がある。また、先進的な取組を実践している小中学校との連携を深めるためにも、ICT環境を充実する必要がある。
		「江別の地から一人でも多くの生徒を全国大会に！」プロジェクト	全国大会を目指す運動部や文化部の活動の充実のため物品整備等を行い、部活動をより活性化させる。また、全国大会へ参加する生徒の保護者等の負担を軽減する。	現在のトレーニング機器では運動部においてトレーニングが効率的に行われておらず、体力強化に限度があるため、機器を購入する必要がある。また、活発な文化部活動には莫大な費用がかかっている現状があり、加えて、運動部・文化部共に全国大会の遠征では保護者の負担が過大となっているため、その負担を軽減する必要がある。
石狩	<a href="#">北広島西高等学校</a>	アクティブ・ラーニング環境の充実	教育の質の向上を目指し、生徒の学力向上及び進路目標実現の一助とするため、ICT機器を整備する。	本校のICT機器の状況では、e-ラーニングや生徒の調べ学習に限度があるため、この課題を解決し、更なる生徒の学びを支援するため、ICT機器の整備を行う必要がある。
後志	<a href="#">蘭越高等学校</a>	ICT機器導入推進事業	英語科の指導の中で、特に課題のある「話す」「書く」といったアウトプット領域の力の育成にタブレットを活用し、ペアワークによる会話の録音・動画や、英作文などの成果物共有のため、ICT機器を整備する。	グローバル化が進む今日、蘭越町を含むニセコエリアには、海外からの移住者や観光客が年々増加していることを踏まえ、ICT機器(タブレット)を英語科の指導の中で効果的に活用し、生きたコミュニケーション能力の育成を図りたい。
後志	<a href="#">倶知安高等学校</a>	グローバル化に対応する環境づくり	海外姉妹校の検討と交流、地域に住む外国人による講話や交流、帰国・外国人生徒の学習環境整備	グローバル化が急速に進む「ニセコ・倶知安地域」にあって、海外とのTV会議、姉妹校交流、グローバルリーダーの育成、帰国・外国人生徒が学ぶ環境づくり等を一層進める必要がある。
		部活動の活性化のためのサポート	特色ある部活動やオリンピック等で国際的な活躍を期待される部員への支援や、ボランティア活動・地域貢献活動への支援	少子化が進み、十分な部活動支援のための予算が確保できず、また、長期間に渡り使用が困難な状態の設備や用具が多く見られる。併せて、スキー等、地域に密着した種目に対する期待がある反面、有望選手を経済的に支援する仕組みが無い。

公表内容				
管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
胆振	<a href="#">苫小牧西高等学校</a>	アクティブラーニング等の授業環境充実事業	プロジェクターや大型ディスプレイ等のICT機器を活用し、アクティブラーニング等の授業改善を進めるための環境整備	アクティブラーニング等の授業で活用するICT機器の充実や、視聴覚教材を有効活用する環境を拡充させ、生徒の主体的・共同的な学びや学力向上を実現するICT関連機器の整備が必要である。
		部活動サポート事業	部活動の充実・活性化に向けた物品の購入	部活動に必要な物品について、特に高額な備品等については購入できないため、運動系や文化系の部活動における備品を購入し、部活動の環境を整備し、部活動の活性化を図りたい。
胆振	<a href="#">伊達高等学校</a>	部活動サポート事業	吹奏楽部の楽器等の購入	地域の文化の推進役として有能な人材を輩出してきた実績があり、内外より高い評価を得ている吹奏楽部の活動を更に充実・発展させ、本校や地域の新たな発展及び人材育成に繋げたい。
胆振	<a href="#">白老東高等学校</a>	「しらおい」で地域とともに学ぶ伝統文化～国立アイヌ民族博物館と民族共生象徴空間（ウポポイ）を中心とした「地域学」の取組～	白老町のアイヌ民族の歴史について、生徒が主体的・協働的に学び、生活様式・調理体験・音楽体験・言語活動など、郷土に根付く伝統や文化の価値を感受するとともに、地域イベント等で地域の伝統文化の魅力等を発信する。	2020年には国立アイヌ民族博物館・民族共生象徴空間が開設される中で、地域と連携した取組を行い、地域を支える人材育成を図るとともに、先住民の歴史について生徒が主体的・協働的に学び伝統や文化の価値を感受し、地域の伝統文化の魅力等について町内外に情報発信を広く行うことが求められている。
胆振	<a href="#">追分高等学校</a>	主体的・対話的な深い学びの授業の推進	生徒の特性に応じた主体的・対話的な深い学びの授業を推進するため、プロジェクターなどの電子機器を整備し、視覚に動きかける授業や自ら学び探究する授業を展開	本校の生徒の特性を踏まえICTを活用することにより、生徒の自主的・自発的な活動を促すことや学習意欲を向上させることができる。
胆振	<a href="#">鶴川高等学校</a>	鶴川高からむかわ町を盛り上げようプロジェクト	むかわ町内にアンテナショップを立ち上げ、高校生が考案した商品を高校生の手で販売する。	高校生が地域創生と震災からの復興という視点から、むかわ町に関する商品の企画・考案・製品化を行うことにより、町を盛り上げ、高校生の自己有用感・達成感も学ぶことができる。
日高	<a href="#">富川高等学校</a>	富川高等学校ICT教育環境整備事業	来たるべきSociety5.0社会の到来に向け、空の産業革命と呼ばれるドローンを活用したプログラミング教育を行い、生徒たちの進路実現の一助となる習熟支援を実施するため、必要な環境を整える。	本校では4年間、文科省指定事業の研究指定校として取り組んだことで、先進的なICT教育推進校として認識されたが、今後もスキルのある教員やICT教育に慣れた生徒たちのためにも学習環境の充実を図る必要がある。 ドローン免許講習を開始した富川自動車学校との連携事業も始まり、ドローンを活用したICT整備を行い地域を支える人材を育成することができる。
日高	<a href="#">静内農業高等学校</a>	フードシステムの確立から6次産業化教育の充実	原材料の生産から加工・販売までを行うフードシステムにおける販売に係る校外での学習機会を充実させるため、必要な産業備品（保冷車）を整備する。	現在は衛生の問題上扱うことが出来ない乳製品について、販売の機会が十分ではなく、フードシステムの実習に限りがある環境の改善が必要である。また、校外販売の機会が増えることで、生徒たちの販売を通して身につく知識や技術の向上、商品開発のヒントとなるだけでなく、学校のPRや地域との交流等も進めることができ、地域の方々管内で唯一の農業高校である本校の必要性を改めて認識してもらい機会にもなる。

公表内容				
管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
渡島	函館西高等学校	探究活動を通じた学校教育活動の深化・充実	探究活動を軸とした授業改善のため、ICT機器や通信環境の整備、稼働式でレイアウトが自由に変えられる机と椅子の整備等、学習環境を整え、学校教育活動全体の深化、充実を図りたい。	平成31年4月に再編統合された本校は、探究活動を軸に授業改善に取り組んでいる。探究活動は「総合的な探究の時間」のほか、各教科においても取組を進め、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点から、生徒が課題を設定し、調べ、まとめ、発表する活動を重視している。特に、グループでの活動と個人の活動を往復しながら、考えを深めていくことを目指しており、そのための学習環境の充実が必要である。
		再編統合に伴う部員増に対応した部活動の充実	各部活動において活発な活動が行われるとともに、地域からの期待や、地域活性化に因るため、部活動における施設・設備・備品・消耗品等の環境のより一層の充実を図りたい。	平成31年4月に再編統合された本校は、3間口から6間口の学校となり、生徒数が倍増し、部活動加入率も80%と高い。部員の増加に伴い、備品・消耗品(ユニフォーム等を含む)の整備が不十分な状況があり、また、文化系部活動は地域のイベントでのパフォーマンスや交流も頻繁に行われており、地域活性化に果たす役割も大きいことから、部活動の環境整備を進め、充実した活動に繋げていく必要がある。
渡島	函館水産高等学校	水産教育を通じた地域連携の充実	地元漁協と連携して牡蠣の試験栽培や、水中ドローンを活用した海洋調査、沿岸水産業で不足しているエンジニア人材の育成を図るため、地元企業と協力しながら、実習を充実	栽培漁業におけるコスト高や定置網による漁獲が減少している現状を、地元企業と協力して様々な試みから解決するとともに、沿岸水産業において船舶等を整備するエンジニアが不足しており、機械離れが進路選択にも及んでいるため。
上川	旭川東高等学校	主体性・協同性を育む活動の充実	学習支援や学校家庭の連携、21世紀型スキル習得の課題解決のため、主体的に学び合えるICTを十分に活用できる学習環境の整備	国際社会が求めている課題解決に向けた能力・態度を育て、グローバル化社会の中でも通用する人材を育成するためには、先進的な教育ICTシステムを早急に構築し、よりICTを活用しやすい環境の確保が必要である。
上川	旭川農業高等学校	次代を担う酪農家養成事業	牛の飼育管理に関する先進的な知識と技術、世界に通用するフレーム雄大な乳用牛の生産と全国共進会への出品活動、共進会に関わる先進的な知識と技術の習得	北海道酪農は全国の食を支えてきたが、その背景には先人達が取り組んで記きた乳牛改良がある。しかし、酪農も後継者不足が深刻化するなか、世界に通用する優良な乳用牛生産を行うことで、人材育成と持続可能な酪農を实践し、地域振興に寄与することが必要である。
上川	富良野高等学校	ふらのアンバサダー(観光大使)育成事業	海外の観光先進地に生徒を派遣し、富良野の良さをアピールするとともに、現地高校生と交流を図る。さらに、観光先進地を視察し、これからの富良野の観光の在り方を探る(派遣地:オーストラリア・ニュージーランド等)	富良野市は道内有数の観光地であり、全世界から多くの観光客が訪れるが、観光を支える職業に就く生徒は少ない。将来、地域振興を目指す生徒が、通常の学習では習得することのできない体験や富良野の良さをアピールすることで、グローバルな視点で富良野の観光を考え、富良野の発展に寄与する人材の育成を目指したい。
上川	鷹栖高等学校	スキー(クロスカントリー)部創設事業	本校開校以来の悲願であるスキー(クロスカントリー)部の創設のため、クロスカントリースキー競技及び練習に必要な用具等を整備	鷹栖町にはクロスカントリーの少年団があり、全国2位になった選手を輩出するなど町を挙げて応援しているが、有望選手は中学卒業後には町外の高校へ進学している。地元では開校以来、鷹栖高校にスキー部創設を求める声が多くあるため、生徒たちの練習環境を整えたい。
上川	上川高等学校	国際交流の充実(カナダ海外派遣研修)事業	ロッキーマウンテンハウス町におけるホームステイによるホストファミリーとの交流及び町内各施設の見学、パンフ国立公園やバンクーバーの各施設の見学、環境学習	平成2年度から上川町の姉妹都市であるカナダ・ロッキーマウンテンハウス町に町の「ふるさと創生研修事業」の一貫として2名派遣しているが、参加した生徒は、次代を担う国際感覚を身につけ、校内でもリーダー的役割を果たしている。希望する生徒を1名でも多くこのような研修に参加させたい。
留萌	留萌高等学校	アクティブ・ラーニング環境の充実	アクティブ・ラーニング等の新たな学びを支援するため、ICT機器を整備	普通科、電気・建築科、情報ビジネス科の3学科を有する地域の中心校として、将来的に地域に貢献できる人材を育成する役割を果たすため自主的・主体的に学ぶ環境の充実を図る必要がある。
留萌	苫前商業高等学校	北海道苫前商業高等学校販売実習会「SMILE WIND」	札幌の商業施設において、苫前町の特産品や自校の開発商品などの販売実習を実施	商品の仕入れから苫前町の特色や特産品に関する知識を深め、地域に対する愛着を深めることとともに、ビジネスに関する国際的な感覚を養う機会が必要

公表内容				
管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
留萌	<a href="#">羽幌高等学校</a>	はぼろアンバサダー(観光大使)育成事業	海外の観光先進地(英語圏)に生徒を派遣し、羽幌のよさをアピールするほか、現地高校生と交流を図るとともに、現地の語学学校でも語学研修を受けることによりグローバルな視点で観光を考え、地域の発展に寄与する人材を育成する。	羽幌町には近年多くの観光客が訪れるため、海外校との長年の交流等、グローバルに活躍する人材育成を図る土壌のある本校において、羽幌町の豊富な観光資源を外部へアピールする機会を増やし、観光先進地を視察することにより、これからの羽幌の観光の在り方を探究することで、羽幌町が抱える課題の一助とするため。
留萌	<a href="#">遠別農業高等学校</a>	地域密着型6次産業化の取組	地域の食材等を用いた商品の開発・製造から、流通、販売までを地域と一丸となって行う教育活動や環境の整備	地域と連携し、農産物・畜産物・水産物等の付加価値を高め、地域活性化に尽力し、活気あふれる町づくりに貢献したいが、商品開発・製造のための研究費の確保や販売・流通に伴う販路の拡大が必要
留萌	<a href="#">天塩高等学校</a>	生徒の個別学習を支援する学習支援の充実	生徒の個別学習を支援するための端末や、アクティブ・ラーニング等の充実に向けた学習支援環境の充実	生徒個々に応じた課題や進路希望に合致した支援を充実させ、地域から選ばれる学校づくりを推進したい。
宗谷	<a href="#">浜頓別高等学校</a>	学習支援室の整備	生徒の個々の能力に応じて、興味・関心を引き出し、生徒の自主的な学びを支援するための学習支援室を整備	個々の学力差等に応じた生徒の学力向上、進学実績向上は地元地域からの強い要望でもあり、ICT環境を整えることで、個々の取組に応じた学習ができる環境を整備する必要がある。
宗谷	<a href="#">礼文高等学校</a>	離島部活動応援プロジェクト	部活動活性化に必要な用具等の整備、各種大会に参加する交通費等	地理的に離島にあるため遠征費がかさみ遠征を取りやめるといった事態や、部活動の練習環境の充実を行えない状況を改善したい。
オホーツク	<a href="#">常呂高等学校</a>	めざせ2026年冬季五輪「ところプロジェクト」	日本を代表し将来が期待されるアスリートに対して、カーリングホールの利用料を助成し、競技能力の向上を図るとともにスポーツ活動に打ち込める環境の整備	カーリング競技を行っている生徒は、常呂カーリングホールで年間200日トレーニングを行い、年間10試合程度国際大会につながる選考会に出場しており、保護者の負担が過重となっているため負担の軽減を図りたい。
オホーツク	<a href="#">紋別高等学校</a>	小学校プログラミング支援プロジェクト	電子機械科の生徒による、小学校における「プログラミングの楽しさを伝える出前授業」などの実施	2020年度から小学校で必修化されるプログラミング教育に向けて、地域のプログラミング教育をサポートするとともに、生徒の資質・能力を育成したい。
オホーツク	<a href="#">佐呂間高等学校</a>	部活動応援サポート事業	運動部のためのトレーニング器具の充実や、文化部のための物品購入	部活動を支える器具や物品の購入について、小規模校のため限界があり、活動に支障をきたす状況となっており、部活動の活性化を図り、生徒の健全育成とともに、将来社会で活躍・貢献する人材を育成したい。
十勝	<a href="#">帯広三条高等学校</a>	SDGsの視点を取り入れ地域と協働する十勝らしい生徒一人一人の学びの実現	ICT機器の活用や整備、著名人による講演等を通して、十勝の自治体や企業が抱える課題や地球規模で問題となっていることを、高校生の視点からSDGsの考え方をういて解決する教育活動を充実する。	確かな学力の育成とPDCAサイクルに基づく授業改善が喫緊の課題である。時代の変化はもとより、地域のニーズに対応した教育活動の充実を図り、SDGsの視点を取り入れ、生徒が主体的に学習に取り組む質の高い教育を目指す。
十勝	<a href="#">帯広農業高等学校</a>	農産加工実習室の環境充実	安全安心な環境で作業効率や品質向上に繋がる農産加工実習が行えるよう農産加工実習室へエアコン整備	現在の農産加工実習室には、エアコンが設置されておらず、特に夏季の実習効率や製造する加工品に制約がある状況である。年間を通じて安定した環境で実習を行える環境に改善し、作業効率と品質を向上させる実習活動の充実を図る必要がある。
		農業経営者育成寮の生活環境の充実	将来の農業経営者を目指し学ぶ生徒のための農業経営者育成寮の生活環境の充実	育成寮で学ぶ生徒は将来の農業経営者を目指し早朝から夕方までの実習に加え、通常の学校生活や部活動等を行っており、健康増進や事故防止だけではなく、質の高い農業教育をサポートするため、質の高い睡眠をとれる環境が必要である。

公表内容				
管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
十勝	<a href="#">幕別高等学校</a>	閉校記念事業「人と思いをつなぐプロジェクト」	令和3年3月の閉校に当たり、道内外の幕別高校にゆかりのある人たちをつなげるプロジェクト（モザイク壁画の作成と、花文字の作成、卒業生と併設校生徒への著名人の体験的な講演）	72年間の幕別高校の歴史と6,800名の卒業生の思いを残すことを計画しているが、校内の教育機器では十分な活動ができず、また、最後の卒業生と中札内養護幕別分校の生徒たちに、オリンピックの講演を実施したい。
十勝	<a href="#">本別高等学校</a>	総合的な探究の時間「とちかち創生学」	本別町の特産品の開発（地域の農産物を活用した商品）、地域課題についての調査研究及び生徒と地域との協働による解決策の立案・提言	地域に唯一の高等学校として果たす役割の一つは、次代の地域を支える人材の育成であり、そのためには、商品開発や地域課題の解決など、正解のない課題に対し最適解や納得解を見出す学習活動を地域との協働により行い、課題解決能力や創造力、協働力等を育成することが必要である。
釧路	<a href="#">釧路湖陵高等学校</a>	アクティブラーニングを充実させるための環境整備	アクティブラーニングの視点から様々な授業展開に効果的に対応できる教育活動を充実させるため、ICT環境の整備を進めたい。	アクティブラーニングの視点からの学習改善や、医進類型等に係る特別授業及び探究活動等の授業展開を充実させていくに当たり、インターネットを利用する場面が多々あるが、現在の情報機器の整備状況では限度がある。
釧路	<a href="#">釧路商業高等学校</a>	学科の特性を活かし、地域と連携した特色ある教育活動の推進	各学科の特性を活かし、地域の観光資源を活用したPRコンテンツの開発や地域活性化に向けた新ビジネスプランの提案など地域と連携した教育活動と成果の発信	地域人材を招聘した講演実施、生徒を地域に出して実際の・体験的な学習に取り組みさせるなど、地域の教育力を活用した教育活動を推進するために経費面での課題を解決する必要がある。
釧路	<a href="#">阿寒高等学校</a>	小規模校の教育活動の充実	地域巡検（阿寒湖畔）及び自然体験学習、地域行事、アクティブ・ラーニング、幼稚園交流等の教育活動や吹奏楽部活動の充実に必要な経費	生徒数が少ないため、様々な学校教育活動に制約があり、より教育効果を高めるためには環境の整備が必要である。また、地域を知ることや見聞を広げたりすることで、今後の探求の活動を充実したい。
釧路	<a href="#">弟子屈高等学校</a>	郷土愛を育む地域連携型教育活動の充実	学校設定科目「弟子屈探究」において、地域の課題を明確にし、地域活性化のためのプランを作成、関係機関等にプレゼン等を実施する教育活動の充実	これからの地域を担う人材の育成が喫緊の課題であるため、郷土についての深い理解を持ち、郷土を愛するところをより一層育成する教育活動を充実させ、地域活性化の一翼を担う人材を育成したい。
釧路	<a href="#">白糖高等学校</a>	主体的・対話的で深い学びの実現を図る学習環境の充実	各教科・科目の学習における、主体的・対話的で深い学びの実現を図るため、現在の「アクティブラーニング教室」の環境を充実	他者と協働して課題を解決しようとする学習活動等において、情報や情報手段を主体的に選択し活用できるように配慮することが求められていることなどから、既設のICT機器を効果的に実施するための備品の整備が必要である。
胆振	<a href="#">登別明日中等教育学校</a>	AKBアクティブラーニングプロジェクト	グループワークやディスカッションができる空間にするため、スタンダードボードやスクリーン等を設置し、講義室をアクティブラーニング仕様にする。	本校はスーパーグローバルハイスクールの指定を受け、グローバルな視野を持つ人材の育成に取り組む、平成31年度からは「地域との協働による高等学校教育改革事業（グローバル型）」の指定も受け、生徒のディベート力やプレゼンテーション能力を養ってきたが、グループワーク等のしやすいアクティブラーニング環境の更なる充実を図る必要がある。
		AKB国際理解教育&外国語教育パワーアップ事業	海外研修等に参加する生徒への旅費補助、海外高等学校との姉妹校提携を増やし、異文化交流や語学研修機会を充実するとともに、外国人による講話や交流を行う。	現在、姉妹校提携はアメリカのシアトルにあるボッセル高校1校のみとなっている。「グローバルな視野に立って人や社会と関わることができる人材を育成する」という本校の目標を達成するため、海外フィールドワークや他国の学校との姉妹校提携を増やし、外国人と交流する機会を増やすための環境整備を行う必要がある。
		AKB校舎ICT化事業	海外の生徒との交流や探求活動をより充実させるべく、ICTを利用した授業を実践するために、ICT機器の整備を行う。	海外の学校との交流や調べ学習を行うにあたり、現在のICT環境では限度があるため、普通教室でもインターネットを活用できるようICT機器の整備を行うことでより充実した教育活動を展開できる。
石狩	<a href="#">新篠津高等養護学校</a>	知的障がいがある生徒のアクティブラーニング等のための環境整備	ICTを活用した『分かる授業づくり』を実施するため、ICT機器を授業で活用する環境整備	作業学習を障害の程度に応じて学ばせるなど、ICTを活用した『分かる授業づくり』が課題となっている。生徒所有のiPadを授業で活用させていくに当たり、校内のICT環境の充実が必要である。

公表内容				
管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
後志	<a href="#">小樽高等支援学校</a>	ユネスコスクール活動充実のための環境整備	平成30年度に登録されたユネスコスクール活動を充実させるため、ICT機器等の環境整備を進め、ユネスコスクールなどの交流を促進したい。	地域貢献や国際貢献、持続可能な開催のための教育（ESD）の視点を取り入れた教育活動の充実を図るため、ユネスコスクール間や、作業学習で作成した囲碁盤等を届けているミャンマーの現地の方との交流などを行えるようになっていきたい。
渡島	<a href="#">函館盲学校</a>	ヘレンケラー女史来校記録の展示	昭和12年に来校したヘレンケラーに関わる写真や記念品を展示することにより、在籍者や来校者にその歴史的意義や視覚障害に関する理解啓発を行うための一助とする。	来校時にヘレンケラーが触察で日本文化を感じるために使用した神社の模型を清掃し、校内各所にある写真等とあわせて展示することによって、本校におけるその歴史的意義を再確認するためのスペースとして活用したい。
渡島	<a href="#">函館聾学校</a>	共生社会を生きる心を育む教育環境整備事業	地域やろう者らとともにある学校づくりを推進するため、幼児用園庭の整備や手話環境の整備（手話パフォーマンス・ワークショップ・手話研修）	道南の聴覚障がい教育の拠点校として、地域の聴覚に障がいのある幼児児童生徒が学びたい、保護者が学ばせたい、地域が連携した教育を進めたい学校づくりを進める必要がある。
渡島	<a href="#">七飯養護学校</a>	函館・渡島・檜山教育・福祉合同作品展への参加	特別支援学級・特別支援学校や障がい者施設・事業所などの作品を展示即売する会への参加	同作品展へ授業で制作した物品を展示即売することで、学校の教育活動を広く地域社会に向けて発信でき、また、生徒が参加することで、学校内における販売会以上の経験を得ることができる。
渡島	<a href="#">七飯養護おしま学園分校</a>	自閉症のための合理的配慮（ICT応援事業）	自閉症スペクトラムの児童生徒の特性や学習スタイルに合わせた指導方法、内容等を充実させるため、ICT機器を学習場面で活用	障害特性から視覚情報が有効である児童生徒のため、大きな掲示物を作成するための「大判プリンター」や、聴覚等の感覚過敏な児童生徒に対応する「ブルートゥーススピーカー」等を学習場面で活用し指導を充実したい。